

NEWS LETTER

— 企業の災害対策 — 防災設備診断で見た情報機器の災害対策の遅れ

さる7月16日の午前10時過ぎに発生した新潟県中越沖地震は、マグニチュード6.8という大きな地震で、2004年10月におきた中越地震に次ぐ災害に見舞われた新潟県では、一般民家だけでなく多くの企業も被災しました。自動車部品メーカーが被災したことで、大手自動車メーカーの生産ラインがストップ、原子力発電所が想定外の被害を受けて夏の電力需給がひっ迫するなど、社会的影響は甚大なものがありました。

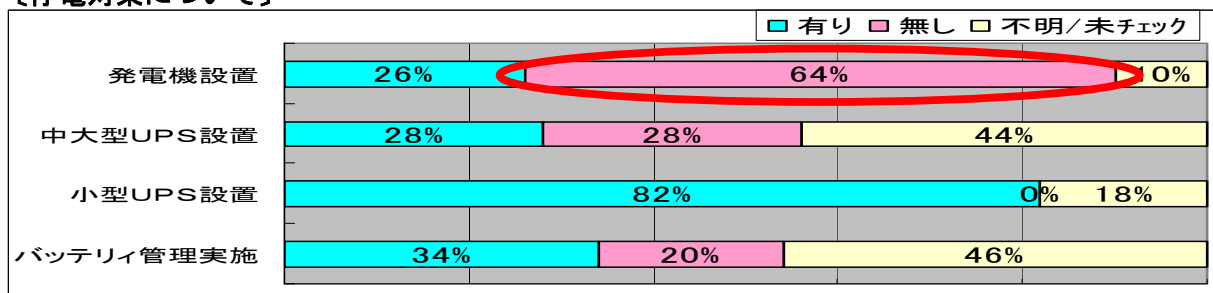
地震災害は、いまや特定地域の生活インフラや企業活動などへの影響だけでなく、その社会的影響は国内に留まらず海外へも波及することを、あらためて思い知らされる結果となりました。このような地震災害だけでなく、ここ数年来で異常気象による暴風雨災害、火災など、突発的な災害が相次いでおり、産業界では真剣な対策の必要性に迫られているともいえます。

高度情報化社会の中、企業活動の生命線とも言える『情報システムの災害対策』は万全でしょうか？

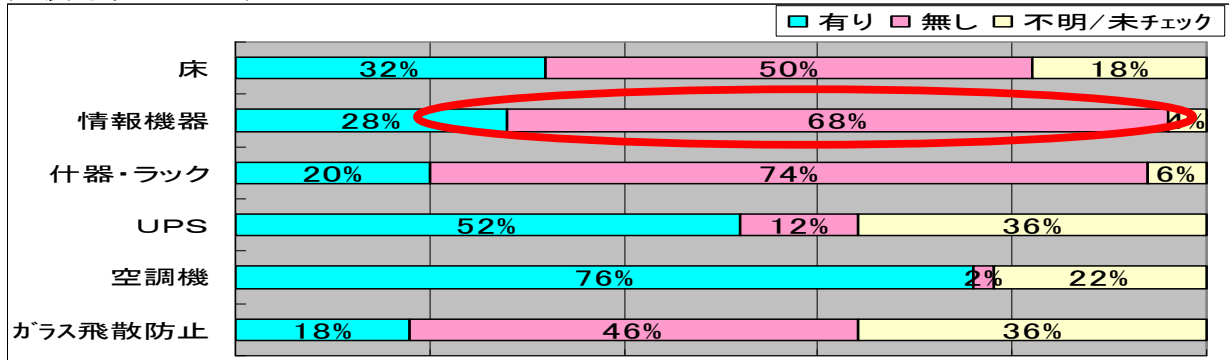
当社はこれまでの情報システム設備の施工実績を活かした、防災設備診断を実施しています。その結果として「停電対策」では小型UPSの設置が82%という高率なのに対し、発電機の設置が26%、バッテリー管理を実施している企業・団体等が34%という実態が明らかになっています。また、情報機器に対する「地震対策」では、実施済みが28%という状況でした。（当社調査結果50社のデータ）

あなたの会社の災害対策は、万全ですか？ 大きなトラブルが発生する前に、「情報システム設備の診断」を検討されてみては如何でしょうか？ 当社では、「情報システム設備防災ソリューション」を提供しています。（添付資料をご参照）

■「情報システム設備の診断」結果（当社調査50社） 【停電対策について】



【地震対策について】



当社調査結果(50社)による

■ 【災害種別による想定トラブル】

災害種別	想定されるトラブル
停電	<ul style="list-style-type: none"> ・バックアップ電源未設置による電源断 ・システム緊急停止によるデータ破壊 ・商用電源供給再開までのシステム停止による営業損失
地震	<ul style="list-style-type: none"> ・機器の転倒、ラック内機器落下による破損、データ破壊 ・落下物、ガラス等による怪我
火災・水害	<ul style="list-style-type: none"> ・火災による機器、データ焼失 ・火災時の有毒ガス発生 ・被水による機器の損傷
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時の断水、冷却塔、ポンプの故障による空調機の停止 ・設備の老朽化に伴う運転効率の低下、運転コスト増加など

以上

■日立電子サービス株式会社について

日立電子サービスは、「お客様の飛躍を支えるベスト・ソリューション・パートナーになる」を経営ビジョンに、情報システムにおける企画・調達から設計・構築、導入、運用、保守のライフサイクル全体にワンストップで対応する「統合サポートサービス」を展開。ハードウェア/ソフトウェアが一体となった、より進化したトータルなソリューションを提供。全国 320 カ所のサービス拠点網と日立ソリューションサポートセンターを中心に、24 時間 365 日万全の体制で、安心と信頼の情報システムを“安心の「電サ」”が実現します。http://www.hitachi-densa.co.jp/

■報道機関問い合わせ先

日立電子サービス株式会社 社長室広報グループ【担当：矢野、^{きどさき}城戸崎】

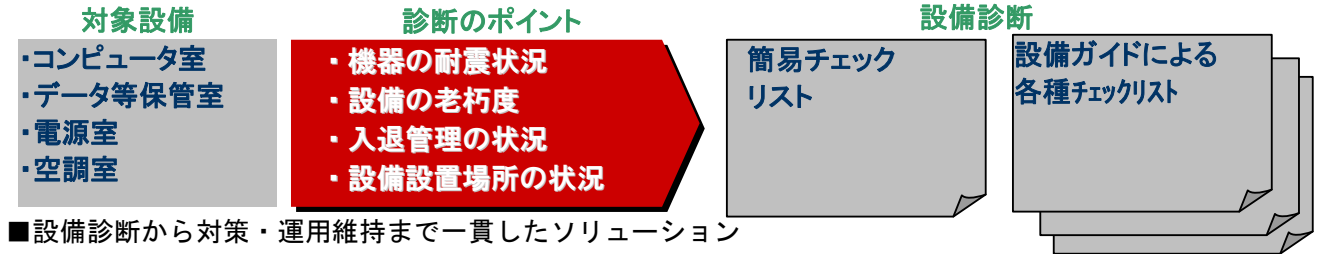
〒108-0073 東京都港区三田 3-13-12 (三田 MT ビル)

TEL : 03-5441-9262 (ダイヤルイン)、FAX:03-5441-9243

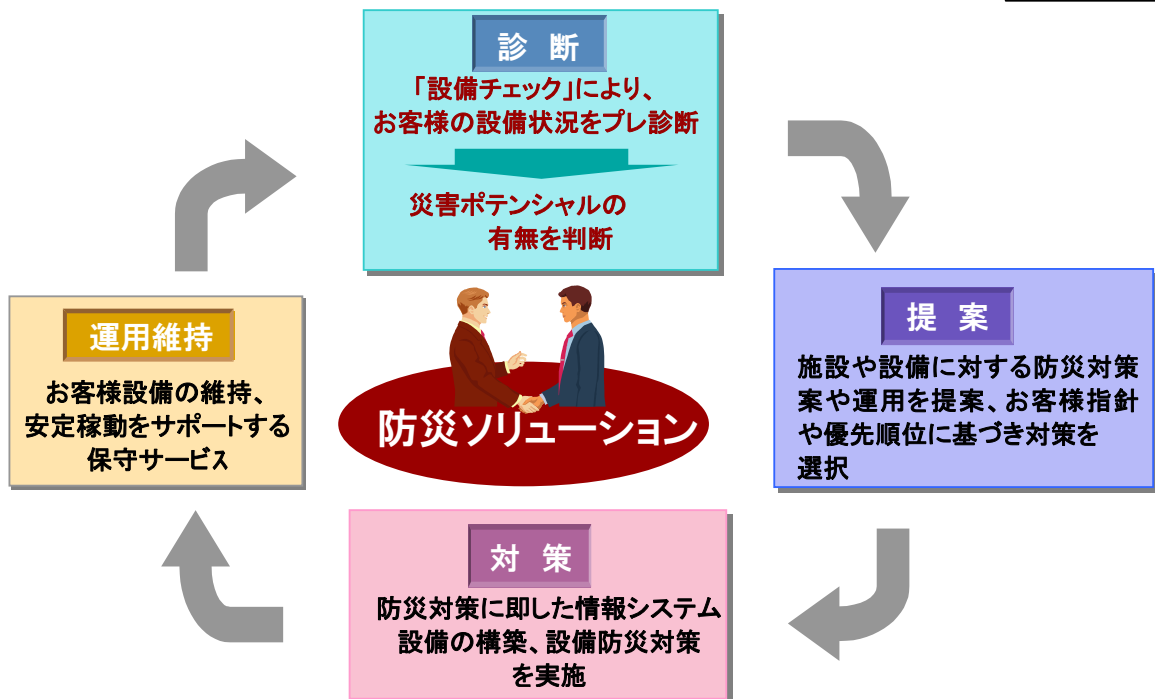
Email : ans1@hitachi-densa.co.jp

「情報システム設備防災ソリューション」概要

■設備診断の内容



■設備診断から対策・運用維持まで一貫したソリューション



■サービスの内容

